

# 島根県のへき地医療支援対策



SHIMANE  
AKAHIGE  
PROJECT

## 医師確保を中心とした島根のへき地医療の現状と対策

2003.10.29 島根県健康福祉部医療対策課

### 1. へき地医療の現状と課題

- へき地といわれる中山間地域や離島では無医地区が多くあることのほかに、病院や診療所の医師不足をはじめ、開業医が高齢化し後継者がいないなど、医療の確保の面で課題がある。こうした地域では公共交通が不便なため、自家用車を持たない住民にとっては通院も苦勞の種となっている。
- 平均すれば、県全体の人口 10 万人当たり医師数は 237.3 人(H12.12.31 現在) で全国平均の 201.5 人を上回っているものの、都市部に多く集まるため地域的に偏っている。
- 現在県全体の医師の平均年齢は 47 歳。一方、診療所医師は 58 歳と大きく開いている。近い将来、へき地でプライマリケア（初期医療）を担当する医師がさらに不足していくことは明らかである。

### 2. へき地勤務医師の確保

- 大学病院が独立行政法人化されたり、新任医師の初期臨床研修が義務化されたりする影響で、各大学医局から派遣されてきたへき地勤務医師の確保が難しくなり、県に対しても多くの要望が寄せられている。また、地域では眼科や耳鼻科、産婦人科などの専門診療にも要望が多く、それへの対応も求められる。
- 自治医科大学卒医の養成のほかに、14 年度から緊急対策としてへき地等医療支援会議の開催、へき地医療支援計画の策定、へき地勤務医師プール制やへき地医療奨学金の創設など積極的な対策を県ではとっている。医療人材センター（赤ひげバンク）の登録をきっかけに今年度 5 名の医師が県内に就職されたことは朗報である。
- 島根県は、質の高い医療の前提となる医師を確保するためには個別の「点」的な努力だけでは継続性のある支援は期待できず、地域全体で医師に対して「面」的な支援体制をとることが必要であると考えているので、今後とも将来に備えて積極的な対策を進める。

へき地とは？ 交通条件及び自然的、経済的、社会的条件に恵まれない山間地、離島その他の地域のうち、医療の確保が困難である地域をいうが、県のへき地医療支援対策では過疎地域自立促進特別措置法に定める過疎地域などを指定している。

# 平成15年度における緊急へき地等医療支援対策の概要

島根県健康福祉部医療対策課

へき地等においては、病院・診療所の医師不足だけでなく、開業医の高齢化や後継者不在などの問題があり、県全体の緊急的な課題となっている。従来から自治医大卒医の育成、へき地勤務医師確保協議会の開催などの施策を行ってきたが、平成14年度からさらにへき地医療の充実を図るために、総合的な取り組みを開始している。

## 1 へき地等医療支援会議及びへき地等医療支援機構の運営

へき地等医療支援会議の場で、へき地医療支援計画に沿ってへき地医療対策を総合的・体系的に推進している。またへき地等医療支援機構は県立中央病院に設置し、代診医派遣の調整、医療従事者の研修計画等を行う。

【予算額】 4,495 千円

## 2 当面の医師確保対策

### ①へき地勤務医師プール制の活用等

県立中央病院のへき地勤務医師確保対策枠を利用しながら、へき地診療所等での勤務と県立中央病院等での研修をローテーションで行ったり、自治医大卒医の年限明け研修を拡大するなど、中央病院を基点とした新たな勤務体系となるへき地勤務医師プール制として機能させる。

また、へき地代診医派遣制度を拡充し、へき地診療所等に勤務する医師の地域への定着を促進したり、初期臨床研修医の公募制を創設する。

【予算額】 62,188 千円

### ②島根医大卒医との連携強化

島根医大卒医に対し、中央病院における研修枠を創設したり、民間医療機関への代診医

派遣をシステム化するなどの方法を検討。

### ③医療人材センター（赤ひげバンク）

赤ひげバンクでは、島根県内外の地域医療に関心を持つ医師等を登録し、情報交換、相談を行う中で、へき地医療のネットワークを広げるための活動を行っており、県内外の第一線を退いた医師も含めてへき地勤務、地域医療支援へ結びつける。ドクターバンク（県医師会委託事業）とも密接な連携を図る。

【予算額】 7,692 千円

### ④ブロック制の推進

へき地医療に従事する医師が学会や研修会等に参加しやすくなるよう、二次医療圏単位でブロック制の充実を図る。また、おおむね市町村単位の小規模ブロック制の導入を検討し、近隣都市部の専門診療科の医師がチームを組んで交代で診療に従事するなど、専門診療科ブロック制の導入も検討中である。

## 3 中長期的な医師確保対策

### ①へき地医療奨学金貸与制度

将来的なへき地勤務医師の不足に対応し、島根医科大学卒医の県内定着を図るため、へき地医療奨学金貸与制度を創設している。

【予算額】 11,010 千円

### ②地域医療等研修会の開催

自治医科大学生と島根医科大学の奨学金貸与者等を対象にした夏季研修を毎年開催することにより、在学中から継続的かつ体系的なへき地医療への動機付けを行う。

【予算額】 1,704 千円

### ③自治医科大学運営費負担金

【予算額】 127,000 千円

# 緊急へき地等医療支援対策

2003.6.25

## 【対策の目的】

- ・へき地医療従事者の「確保」・「供給」・「調整」を県独自に行う
- ・へき地勤務を希望する医師等の様々なニーズに対応した幅広い受け皿づくり
- ・地域に密着した恒常的かつ安定的なプライマリケア(初期診療)の提供
- ・中長期的な視点に立ったへき地勤務医師等の養成

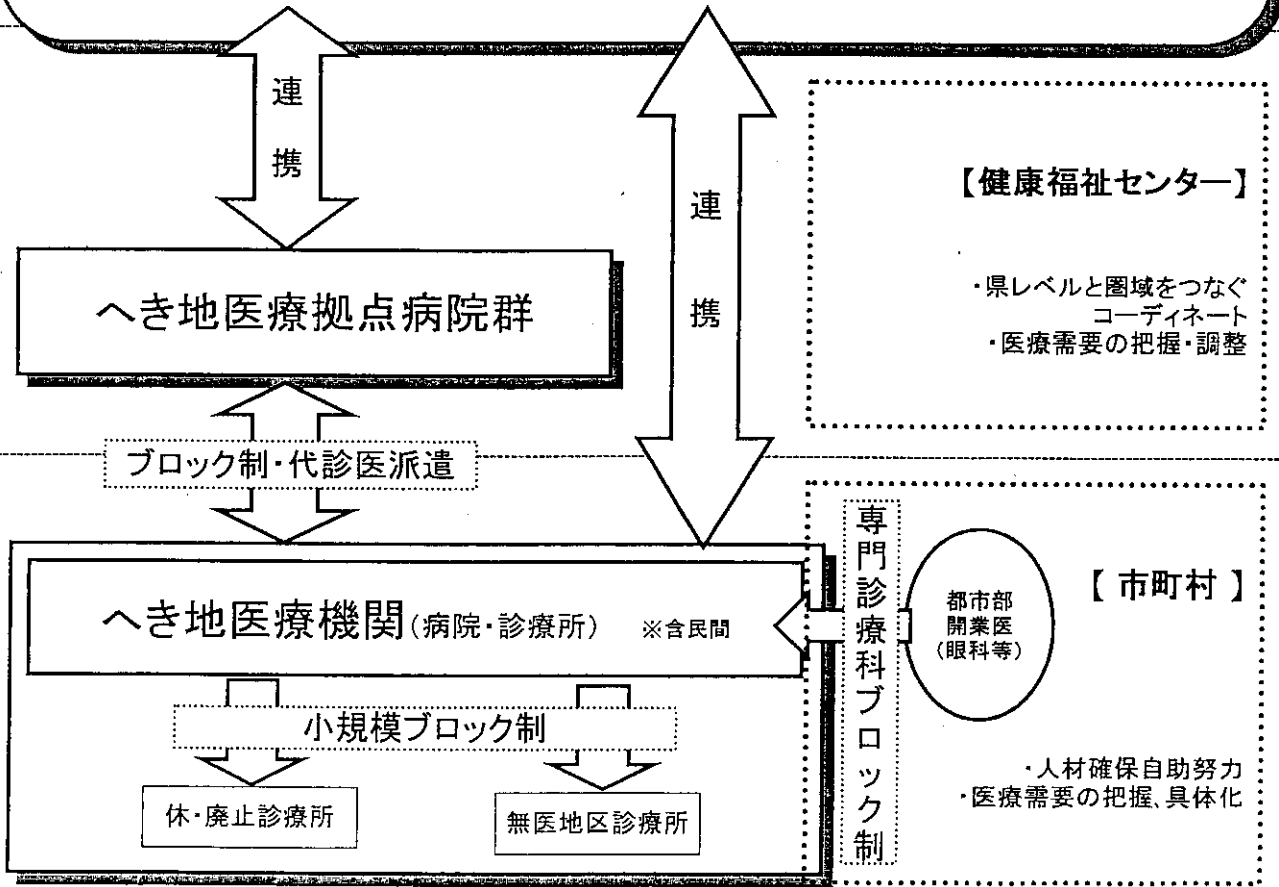
## 【具体的な確保対策】

- へき地等医療支援会議とへき地等医療支援機構の設置
  - ・へき地医療支援計画に沿ってへき地医療対策を総合的・体系的に推進
  - ・へき地医師の確保・調整、医師確保手法に対する施策提案、医療従事者の研修計画等を推進
- 県立中央病院のへき地医療支援体制の強化
  - ・へき地勤務医師プール制の創設
    - へき地勤務医師の弾力的採用、島根医大卒医研修枠の創設、自治医大卒医年限明け研修拡大、代診医制度の拡充
  - ・初期臨床研修医の公募
- 島根医大卒医の県内定着促進及び同大学との連携強化
  - ・県立中央病院における研修枠利用
  - ・民間医療機関への代診医派遣のシステム化
- 自治医大卒医の育成
- 医療人材センター(医療対策課内)による人材確保
  - ・UIターンの促進とドクターバンク、ナースバンク等との連携強化
- へき地医療奨学金制度の拡充
- 地域医療等研修会の拡充

全県レベル

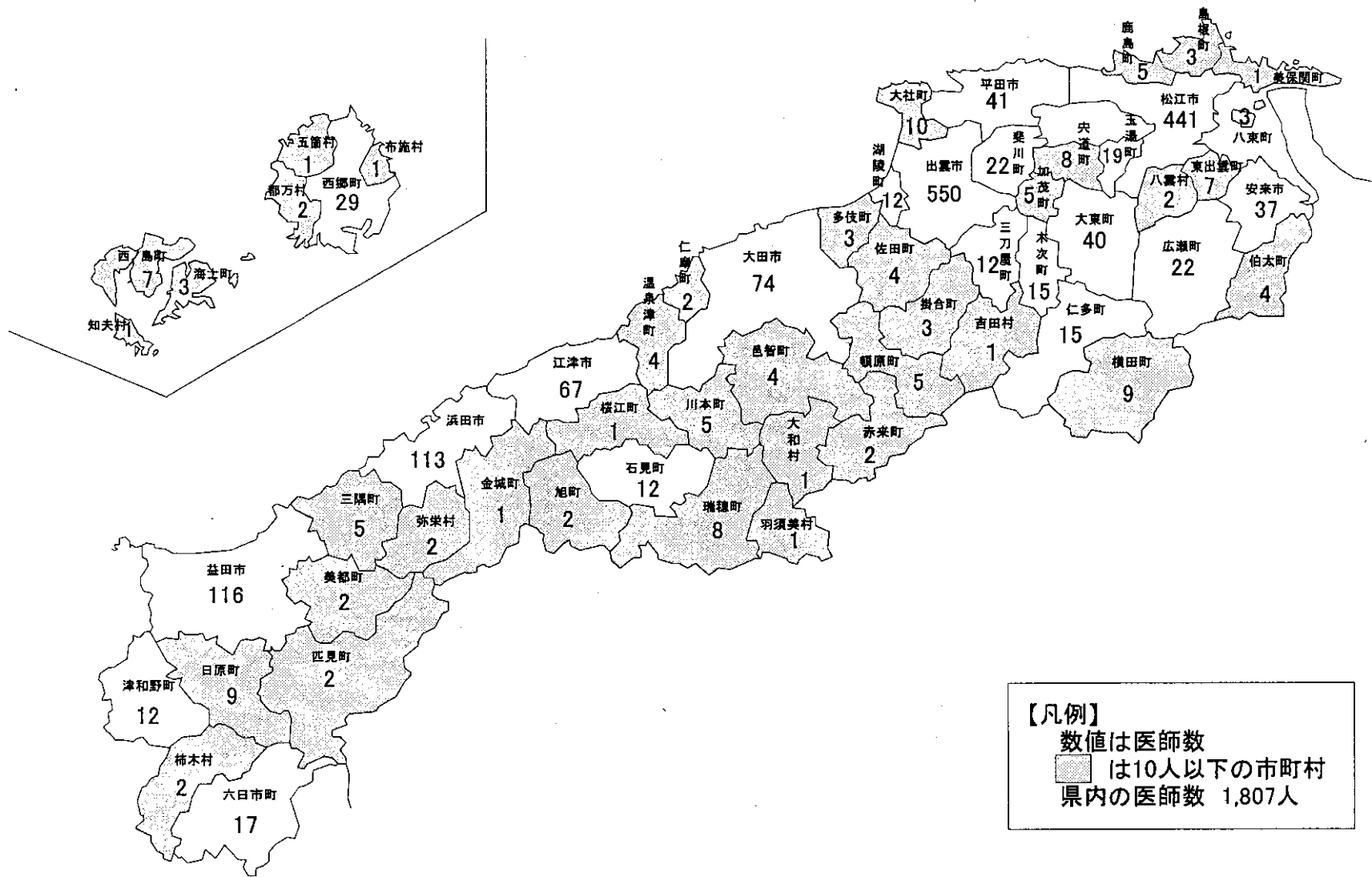
2次医療圏レベル

市町村レベル



# 島根県内の医師数(市町村別)

平成12年12月現在



市町村・圏域別医師数と指数

	医師 総数 12.12.31	人口 12.10月国調	人口10万人あ たり医師数		医師 総数 12.12.31	人口 12.10月国調	人口10万人あ たり医師数
島根県	1,807	761,503	237.3	全国	255,792	126,925,843	201.5
県東部 (隠岐含む)	721	359,176	200.7	県西部	1,086	402,327	269.9
松江圏	552	256,819	214.9	大田圏	112	71,451	156.8
雲南圏	107	69,553	153.8	浜田圏	190	91,236	208.3
出雲圏	642	173,776	369.4	益田圏	160	73,429	217.9
隠岐圏	44	25,239	174.3				
松江市	441	152,616	289.0	大田市	74	33,609	220.2
安来市	37	30,520	121.2	江津市	67	25,773	260.0
平田市	41	29,006	141.4	浜田市	113	47,187	239.5
出雲市	550	87,330	629.8	益田市	116	50,128	231.4
八束郡	48	58,948	81.4	漣摩郡	6	8,964	66.9
鹿島町	5	8,414	59.4	温泉津町	4	4,053	98.7
島根町	3	4,447	67.5	仁摩町	2	4,911	40.7
美保関町	1	6,781	14.7	邑智郡	32	28,878	110.8
東出雲町	7	12,275	57.0	川本町	5	4,784	104.5
八雲村	2	6,844	29.2	邑智町	4	4,606	86.8
玉湯町	19	6,114	310.8	大和村	1	2,018	49.6
宍道町	8	9,489	84.3	羽須美村	1	2,078	48.1
八束町	3	4,584	65.4	瑞穂町	8	5,304	150.8
能義郡	26	14,735	176.5	石見町	12	6,484	185.1
広瀬町	22	9,205	282.5	桜江町	1	3,604	27.7
伯太町	4	5,530	397.8	那賀郡	10	18,276	54.7
仁多郡	24	16,689	143.8	金城町	1	5,216	19.2
仁多町	15	8,733	171.8	旭町	2	3,198	62.5
横田町	9	7,956	113.1	弥栄村	2	1,789	111.8
大原郡	60	31,423	190.9	三隅町	5	8,073	61.9
大東町	40	14,607	273.8	美濃郡	4	4,494	89.0
加茂町	5	6,737	74.2	美都町	2	2,691	74.3
木次町	15	10,079	148.8	匹見町	2	1,803	110.9
飯石郡	23	21,441	107.3	鹿足郡	40	18,807	212.7
三刀屋町	12	8,561	140.2	津和野町	12	6,098	196.8
吉田村	1	2,434	41.1	日原町	9	4,530	198.7
掛合町	3	3,905	76.8	柿木村	2	1,848	108.2
頓原町	5	3,099	161.3	六日市町	17	6,331	268.5
赤来町	2	3,442	58.1				
簸川郡	51	57,440	88.8				
斐川町	22	26,816	82.0				
佐田町	4	4,576	87.4				
多伎町	3	4,215	71.2				
湖陵町	12	5,813	206.4				
大社町	10	16,020	62.4				
隠岐郡	44	25,239	174.3				
西郷町	29	13,194	219.8				
布施村	1	522	191.6				
五箇村	1	2,173	46.0				
都万村	2	2,156	92.8				
海士町	3	2,672	112.3				
西ノ島町	7	3,804	184.0				
知夫村	1	718	139.3				

H12医師・歯科医師・薬剤師調査  
(厚生労働省大臣官房統計情報部)

圏域・年齢階層別医師数

